

地域キャンパス校の教育環境の充実に向けて（概要）

人口減少社会への対応や地方創生の観点から、地域キャンパス校の教育環境の充実に向けて、庁内検討委員会を設置し、今後の基本的方向を取りまとめ

地域キャンパス校の概要

地理的条件から再編が困難であり、地元からの進学率が高い第1学年1学級の高校を地域キャンパス校として、同一通学区域のセンター校から出張授業や連携した教育活動により教育環境の維持充実を図るものであり、平成27年度までに19校に導入

地域キャンパス校の現状と課題

入学者が減少傾向、平成27年度は5校で第1学年の在籍者が20人未満となり、今後、10年以内に約半数の地域キャンパス校で20人を恒常的に下回る見込み
教員数が少ないため、教育課程編成上の制約あり 等

検討の視点

- ・ 高校教育の機会の確保
- ・ 地域における知の拠点
- ・ 先駆性のある教育実践と発信

地域キャンパス校の教育環境の充実策

◆再編基準の取扱い

第1学年在籍者が20人未満となった地域キャンパス校については、地域で果たしている役割を踏まえ、第1学年の在籍者数の推移を慎重に見極めた上で、再編基準の緩和等について検討 ⇔ 具体的人数要件は、今後さらに検討
今後の地域キャンパス校の再編整備については、現在行っている検討の結果を踏まえ、取り扱う。

◆教育環境の充実策

●遠隔システムの積極的な活用

○授業・講習等での活用

- ・ 進路希望に対応した教育課程の充実
- ・ 習熟度別指導など授業形態の多様化
- ・ 実技や実習を伴う教科等での活用
- ・ 大学等への進路希望を持つ生徒への指導の充実
- ・ 資格取得への支援の充実

○授業以外での活用

- ・ 生徒間の交流の一層の推進
- ・ 部活動での活用の推進
- ・ 教員研修の充実
- ・ グローバル人材の育成

●特色ある教育活動の一層の推進

- 学校設定科目の開設
- 地域と連携した教育活動の推進

●学校間連携の促進

- 地域キャンパス校・センター校間
 - ・ 学校行事の合同開催など特別活動の充実
 - ・ 連携研究協議会の充実
 - ・ 部活動等の合同実施等
- 地域キャンパス校間
- 近隣他校間
- 高大連携の推進

●教員配置の充実

- 小規模校加配教員の配置の工夫
- 遠隔授業を得意とする教員の活用

●地域との連携の充実

- 地域の教育資源の活用の推進
 - ・ 授業や部活動における地域人材等の活用
- 小中学校との連携の推進
 - ・ ふるさとキャリア教育の推進
 - ・ 中高連携の充実
- その他の連携の推進
 - ・ 地域の産業を担う人材の育成と地元企業への就業促進
 - ・ コミュニティ・スクール化の検討
 - ・ 所在する市町からの支援体制の構築

●学校の魅力の発信

- 生徒募集の範囲の拡大検討
- 学校のPRの推進
 - ・ 道教委のHPで地域キャンパス校の取組等を紹介
 - ・ 地域の特色を活かした取組を各高校が発信するなどの工夫

今後の取組

- 教育環境の充実策のうち、実施可能なものについて、平成28年度から取組を推進
- 市町村と連携しながら地域キャンパス校をはじめとした小規模校への支援を一層進めるため、通学支援等を行う市町村に対する特別交付税措置の要望
- 指針に基づく施策の成果と課題については、引き続き検討委員会で検証を進め、その結果を平成28年9月を目途に取りまとめ予定